

# 子供と自然をつなぐ地域プラットフォーム形成支援事業

(前年度予算額：19,236千円)  
28年度予算額：15,805千円

青少年の自然体験活動の推進を図っていくためには、「今後の青少年の体験活動の推進について」（H25.1.21 中教審答申）で提言されているように、地域の様々な関係者が協力し、地域の教育資源を活用した持続的な取組を活性化させていくことが重要である。

そのためには、「地域」を基礎として、家庭、学校、青少年関係団体、NPO等を「ネットワーク化」し、相互の情報交換や情報共有、事業の共同実施等を円滑化するための「地域プラットフォーム」が必要である。

## 現状

### 子供・親

情報が届かない、青少年団体等が孤立、キャンプ・事業等への参加者が少ない

キャンプ

自然体験活動の重要性

会員募集

宿泊体験

イベント

環境教育

ボーイスカウト・ガールスカウト・子ども会等青少年団体

地域NPO

教育委員会

町会

企業

青少年教育施設

## ネットワーク化

### 子供・親

情報発信・連携した企画の提供・参加者募集

### 子供と自然をつなぐための地域プラットフォーム (中学校区程度の範囲)

- 情報の収集・発信（HP・情報誌・メールマガジン・行事カレンダーの作成等）
- コーディネーター・ボランティア養成 ●ワークショップ開催 ●試行事業の実施（ご当地体験プログラム開発）等
- 連携・協力事業の実施（■地域の自然環境や教育資源を活用した事業 ■都市と農山漁村の教育交流事業 ■学校・地域を避難所と想定した防災キャンプ等）

関係者がつながる  
ネットワークが広がる

学校・幼稚園・保育園関係者

ボーイスカウト・ガールスカウト・子ども会等青少年団体

教育委員会

農林漁業者

消防署

児童館

青年会議所

ボランティアセンター

地域NPO

町会

企業

青少年教育施設

文化・スポーツ団体

事業成果の普及

ホームページ掲載・フォーラム開催等

情報がより多くの子供や親に届く。イベントやキャンプが充実する。青少年団体等の活動が活性化する。

# 学校を核とした地域力強化プラン

(前年度予算額 6,684百万円)  
28年度予算額 6,832百万円

◇地方創生には、地域を生かした豊かな学びの創出により、子供たちの地域への愛着を育み、地域の将来を担う子供たちを育成することが重要。

学校を核として地域住民等の参画や地域の特色を生かした事業を展開することで、まち全体で地域の将来を担う子供たちを育成するとともに、地方創生の実現を図る。



子供たちを取り巻く地域力の衰退

少子化・高齢化の進展

共働き世帯、一人親世帯、  
独居老人の増加

核家族化

地域をつながりの希薄化

地域格差、経済格差の拡大

地方創生の基盤として  
学校を核とした  
地域力強化のための  
仕組みづくりの推進

農山漁村体験

コミュニティ・スクール

キャリア教育

地域の特色を生かして

地域連携の基盤づくり

学校支援地域本部

土曜日の支援体制構築

地域提案型事業

様々な施策の展開により、  
教育の充実、  
地域も活性化

人口流出の抑制、  
地域の活性化  
子供たちの地域への愛着、  
地域の担い手の増加  
地域資源を生かした子供  
たちの豊かな学びの実現  
学校を核とした地域  
とのつながりの形成

学校を核として、人づくり・地域づくりの好循環を創出

地方創生  
を実現

地域の特色ある取組を  
柔軟に支援

地域力強化プラン

- ◆ 地域の実情に応じて、柔軟に事業を実施することができるよう、関連施策によるプランを推進。
- ◆ 学校を核とした地域力強化のための仕組みづくりや地域の活性化に直結する様々な施策等を有機的に組み合わせて推進。

【コミュニティ・スクール導入等促進事業】(160百万円)  
未導入地域への支援の拡充や学校支援等の取組との一体的な推進等により、将来の地域を担う人材の育成、学校を核とした地域づくりを推進する。

【学校・家庭・地域の連携協力推進事業】(5,246百万円)  
学校と地域を繋ぐ地域コーディネーターが中心となり、学校・家庭・地域が協働で教育に取り組む仕組みづくりを推進し、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支える様々な活動を行うことで地域の活性化を図る。

【地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業】(1,221百万円)  
地域の多様な経験や技能を持つ人材・企業等の協力により、土曜日ならではの教育活動を行う体制を構築し、学校と地域が連携した取組を支援することなどを通じて、地域の活性化を図る。

【健全育成のための体験活動推進事業】(99百万円)  
農山漁村等における体験活動において、地域人材や地域資源を活用することにより、異世代間交流や都市農村交流を図り、地域の活性化につなげる。

【地域を担う人材育成のためのキャリアプランニング推進事業】(12百万円)  
地元就職につなげるキャリアプランニングを推進する「キャリアプランニングスーパーバイザー」を配置し、地域を担う人材育成・就労支援を促進することにより、地域の活性化につなげる。

【地域提案型の学校を核とした地域魅力化事業】(11百万円)  
学校を核とした地域の魅力を創造する取組として、地域が提案する創意工夫のある独自で多様な取組を支援することにより、独自の地域の活性化を図る。

学校を核とした地域力強化・将来を担う子供たちの育成を通じて、地方創生を実現



# 放課後子供教室

## ～放課後子ども総合プランの推進～

(前年度予算額 5,079百万円の内数)

平成28年度予算額:5,246百万円の内数

学校・家庭・地域の連携協力推進事業の一部で実施

【補助率】

国	1/3
都道府県	1/3
市町村	1/3

女性の活躍推進のためには、共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、次代を担う人材を育成するため、全ての就学児童が放課後を安心・安全に過ごし、多様な体験・活動ができるよう、厚生労働省と連携して総合的な放課後対策に取り組むことが必要

放課後子供教室

(文部科学省)

放課後児童クラブ

(厚生労働省)

地域コーディネーター

連携協力

『放課後子ども総合プラン』

として、実施 (H26.7月策定)

双方で情報共有

〈学校区毎の協議会などで取組を促進〉

取組の企画、担い手確保、全体調整  
放課後児童クラブに登録している児童の参加を促進

放課後児童クラブ支援員

放課後児童クラブに  
参加している子供が  
放課後子供教室の共通  
プログラムに参加

教育活動推進員  
教育活動サポーター

(学習支援や多様な  
プログラムの実施、  
安全管理)

特別支援  
サポーター

(特に配慮が必要な  
子供たちへの支援)

多様な  
プログラムの  
提供

【共通のプログラム】

- 室内での活動  
・学習支援(宿題の指導、予習・復習、補充学習等)  
・多様な体験プログラム(実験・工作教室、英会話、文化・芸術教室等)
- 校庭・体育館での活動  
スポーツ活動(野球、サッカー、一輪車)など

参画

大学生・企業OB、地域の高齢者、  
民間教育事業者、  
文化・芸術団体等の様々な人材

特別支援学級の介助員、  
ホームヘルパー有資格者、  
障害者施設実務経験者など

小学校など

- ・余裕教室等の利用促進
- ・学校敷地内の専用施設を利用
- ・体育館などの一時利用の促進

平成31年度末までの目標数

【H28年度】  
15,500か所

【H27年度】  
14,000か所

【H31年度】  
20,000か所  
約半数は放課後  
児童クラブと一体型

- ① 全ての子供たちを対象とした学習支援・プログラムの充実
- ② 一体型または連携型の放課後児童クラブ・放課後子供教室を計画的に整備(一体型の取組を推進)

# 地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業

(前年度予算額 1,261百万円)

平成28年度予算額 1,221百万円

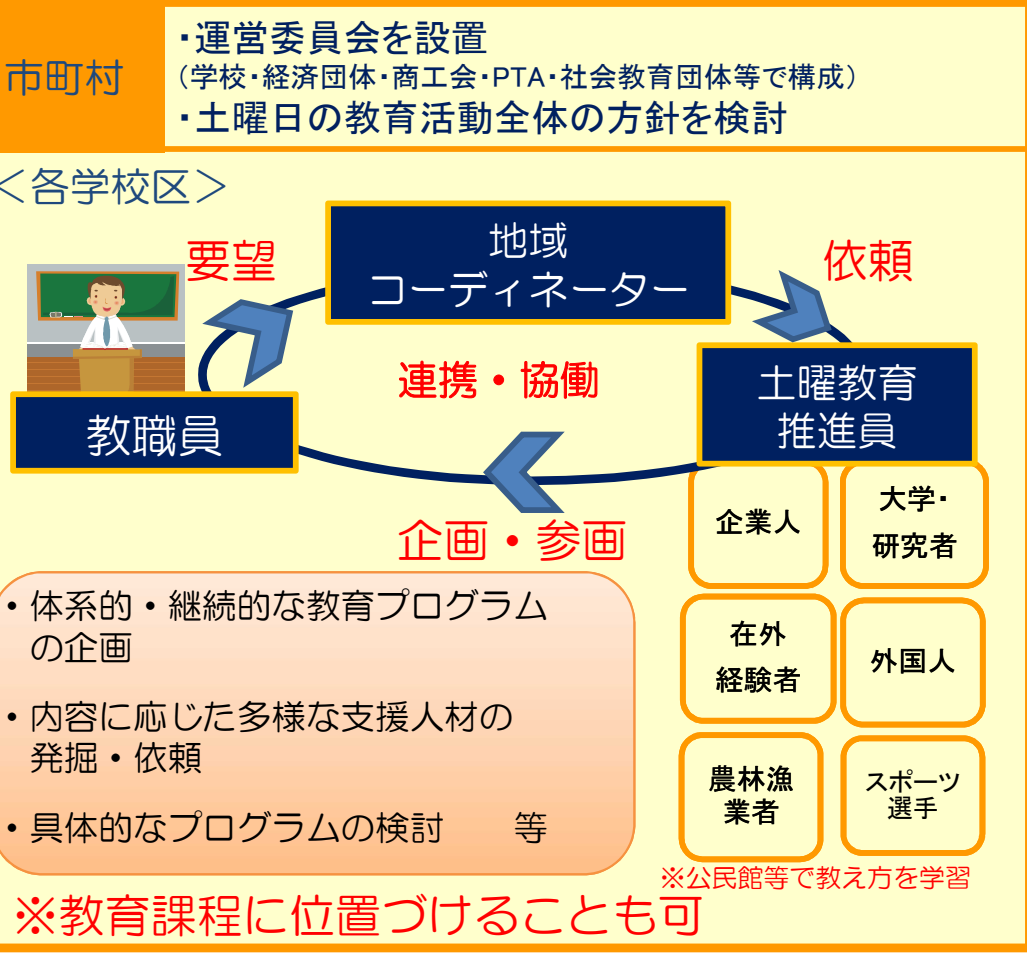
【補助率】

国	1/3
都道府県	1/3
市町村	1/3

全ての子どもたちの土曜日の教育活動を充実するため、地域の多様な経験や技能を持つ人材・企業等の協力を得て、土曜日に体系的・継続的な教育プログラムを企画・実施する学校・市町村等の取組を支援することにより、地域と学校の連携・協働による教育支援体制を構築し、地域の活性化を図る(12,000か所)(小学校・中学校・高校など)

◆地域の多様な経験や技能を持つ人材をコーディネートし、土曜日ならではの生きたプログラムを実現！

## ◆土曜日の教育支援体制の仕組み◆



## 社会を生き抜く力を培う 土曜日ならではのプログラムの実践

～実践例～

★算数・数学  
エンジニアによる  
使える算数・数学講座



★理科：  
研究者による科学実験教室

★外国語：  
在外経験者による英会話

★総合学習  
企業等との協働による  
キャリア教育・商品開発等



★文化・芸術  
文化・芸術活動団体による茶道の作法など伝統文化の良さを理解してもらうための講座

すべての子どもたちの土曜日の教育支援体制等の構築

# 家庭教育支援の取組

(「学校・家庭・地域の連携協力推進事業(平成28年度予算額5,246百万円の内数)」で実施)

すべての親が安心して家庭教育を行えるよう、地域人材の養成や、家庭教育支援チームの組織化、学校等との連携により、身近な地域における保護者への学習機会の提供や相談対応等の支援活動を実施するほか、家庭教育支援員の配置による家庭教育支援体制の強化を図る。

子育て経験者など地域の多様な人材

参画

## 地域人材の養成

### 子育てサポーター リーダー等の養成

- 支援活動の企画・運営、
- 関係機関・団体との連携  
等を担う中核的人材を養成



課題について意見交換

## 連携の仕組みづくり

### 家庭教育支援チームの組織化

家庭教育支援員などの地域人材を中心としたチームの組織化

- 学習機会や親子参加行事の企画
- 家庭や地域の状況に応じた支援をコーディネート

#### 【チーム員構成例】

子育てサポーターリーダー、元教員、民生委員、児童委員、保健師 等



学校等を活動拠点に  
支援内容を検討

## 家庭教育を支援する様々な取組を展開

### 学習機会の効果的な提供

就学時健診や保護者会、参観日など、多くの親が集まる機会を活用した学習機会、親子参加行事等の実施

#### 【講座例】

- 小学校入学時講座
- 思春期の子ども心の理解
- 父親の家庭教育参加促進
- 携帯電話やインターネットに関する有害情報対策



中学校内での親子携帯講座

### 情報提供や相談対応

悩みを抱える保護者、仕事で忙しい保護者など、様々な家庭の状況に応じて、家庭教育支援チームによる情報提供や相談対応を実施

#### 【支援活動例】

- 家庭教育支援チームによる情報提供や相談対応
- 企業訪問による出前講座
- 空き教室を活用した交流の場づくり

## 家庭教育支援拠点機能の整備

### 家庭教育支援員の配置

地域の身近な小学校等に家庭教育に関する情報提供や相談対応等を専任で行う家庭教育支援員を配置し、家庭教育支援体制を強化

#### 【家庭教育支援員例】

PTA経験者、元教員、元保育士、民生委員、児童委員 等



# 子供の生活習慣づくり支援事業

( 前年度予算額 30,390千円 )  
28年度予算額 25,971千円

ライフスタイルの多様化などにより、家庭や社会の影響を受けやすい子供たちの生活習慣の乱れが、学習意欲や体力・気力の低下の要因の一つとして指摘されており、府省や地域、団体、企業等との連携を図り、子供から大人までの生活習慣づくりを推進する。

## 子供の生活習慣をめぐる現状

(文部科学省全国学力・学習状況調査)

- ◎朝食を毎日食べている児童生徒の割合：小学6年生 88.1% 中学3年生 83.9%
- ◎午前7時以前に起きる児童生徒の割合：小学6年生 80.1% 中学3年生 71.8%
- ◎午後11時より前に寝る児童生徒の割合：小学6年生 85.1% 中学3年生 33.6%

約7割の生徒が午後11時以降に就寝

## 子供の生活習慣づくりの課題

- ◆朝食摂取や起床時間と比べ、中学生の就寝時間には小学生との大きな差が見られ、夜型化が顕著
- ◆今後は特に就寝時間を中心に家庭や企業などへさらなる理解を求めていく必要

## 第2期教育振興基本計画 (平成25年6月14日閣議決定)

- ◆基本的方向性：絆づくりと活力あるコミュニティの形成
  - ◆成果指標：家庭教育支援の充実 (家庭でのコミュニケーションの状況や子供の基本的な生活習慣の改善)
  - ◆基本施策：豊かなつながりの中での家庭教育支援の充実 (子供から大人までの生活習慣づくりの推進)
- 【主な取組】
- 企業に対する子供の生活習慣づくりの重要性についての啓発
  - ワーク・ライフ・バランスの理念を踏まえた具体的な取組等の情報提供
  - 地方公共団体に対する企業との協力を促進
  - 中高生以上の世代向けの普及啓発

## 「中高生を中心とした子供の生活習慣づくりに関する検討委員会」における審議の整理 (平成26年3月)

### 最近の中高生を取り巻く生活の実態と課題・問題点

#### 中高生の生活の実態と課題

- ⇒ 中高生になるとスマートフォン等の所有割合やインターネットとの接触時間が急増
- ⇒ 夜型生活による睡眠時間の不足
- ⇒ 中高生になると、朝食の欠食が増加 など

#### 不適切な睡眠習慣が中高生の心身に与える影響

- ⇒ 朝食欠食の日中の活動への影響
- ⇒ 非行、不登校、ひきこもりなどの問題行動等のリスクの増加
- ⇒ 学力や運動能力への影響 など

## 必要な施策

### 全国的な普及啓発の実施

15,801千円

#### 社会全体で子供の基本的な生活習慣づくりの気運を育成

- 保護者等への効果的な啓発手法などの支援方策の検討
- 共同企画による啓発資料作成や研究発表会の開催



### 中高生を中心とした生活習慣

マネジメント・サポート事業 10,170千円

#### 社会的自立に向け、生活を主体的にコントロールする力の育成

- チェックシートを活用した睡眠習慣改善の実証研究
- 地域や家庭と連携した生活習慣改善の取組実施



社会全体で取り組む子供から大人までの基本的な生活習慣づくり